

熊本であなたとともにワイスの灯 ワイスメンズクラブ国際協会 第12回西日本区大会開催



2009年6月6日(土)、7日(日)に行われた「ワイスメンズクラブ国際協会第12回西日本区大会」。メイン会場の崇城大学市民ホール(熊本市民会館)には、世界や日本各地から約1,000人が集まりました。今回、実行委員長を務められた龜浦正行さんと、西日本区理事の佐藤典子さんに感想をうかがいました。

龜浦さんは「皆さんの中に、目には見えませんが、しなやかなネットワークを感じました。組織や企業間のネットワークは、一度離れてしまうと途切れてしまいがちですが、互いのつながりが強く築かれているワイスで生まれたネットワークは切れません。今回参加された皆さん、同じ志の元に集つたワイスの仲間だから、そう感じたのだと思います。大会の感動を、参加することができるなかつた皆さんにも伝えていただきたいですね。参加者が持ち帰った感動の灯として、各ワイスで広げ、次の大会までにさらに大きな感動の灯を広げていっていただきたいと思います」と、ワイスの強い絆が次世代を担う若い方々の可能性を広げ、光り輝かせることができると手応えを感じたそうです。



**ランゲージスクール
ウェルカムパーティ**

■開催日 / 2009年6月6日(土)

■開催場所 / カフェ・ド・シンラン

熊本YMCAランゲージスクールの「ウェルカムパーティ」が開催され、4月にレッスンをスタートした新入会者を含む受講生、語学講師、職員、運営委員の約70名が参加しました。

各国語の「かんぱい」で始まり、話が弾んできた。そこで、会場は異文化クイズで盛り上がりました。「語学講師が日本に来てはじめて最も苦労する習慣は?」など数々の質問に対し、講師の中で一番多い答えを受講生が予想。みな真剣に考え、答えが発表されるとき驚きや納得の声が上がりました。お互の素顔が見えた。おもしろい、絆深まるパーティとな



花に込めて届ける感謝の気持ち
キリスト教会では、6月の第2日曜日を「花の日」と定め、地域に感謝の花束を届け、神の恵みをともに分かち合うという行事が行われています。尾ヶ谷保育園の年長児(5歳児)9名が阿蘇の3つのYMCA保育園を代表して、阿蘇市役所を訪問。ヒマワリやカスミ草など、園児が家庭から持ち寄った花をお渡しし、「がんばってください」と元気にあいさつしました。ほか、健康福祉課や給食などでお世話になっている事業所などを訪ね、花とともに日頃の感謝の気持ちを伝え、皆さんに喜んでいたただくことができました。

■開催日 / 2009年6月5日(金)

■開催場所 / 阿蘇市役所ほか

キリスト教会では、6月の第2日曜日を「花の日」と定め、地域に感謝の花束を届け、神の恵みをともに分かち合うという行事が行われています。尾ヶ谷保育園の年長児(5歳児)9名が阿蘇の3つのYMCA保育園を代表して、阿蘇市役所を訪問。ヒマワリやカスミ草など、園児が家庭から持ち寄った花をお渡しし、「がんばってください」と元気にあいさつしました。ほか、健康福祉課や給食などでお世話になっている事業所などを訪ね、花とともに日頃の感謝の気持ちを伝え、皆さんに喜んでいたただくことができました。

REPORT